

檜葉町駐在現地確認概要(平成29年8月21日～8月25日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連 パラメータ
8月21日	ダクト充填状況の確認	プロセス主建屋 1、2号機周辺	<p>○廃棄物処理建屋間連絡ダクトの充填及び1、2号機共通配管ダクトの部分充填が完了していることから、その状況を現場確認した。</p> <p>【廃棄物処理建屋間連絡ダクトについて】 充填作業は完了しており、充填口及びその周囲はコンクリートで閉塞され、雨水が浸入しないようになっていることを確認した。</p> <p>【1、2号機共通配管ダクトについて】 3箇所ある部分充填箇所のうち、充填が完了したとされる2号機タービン建屋南東側の箇所には、充填口の可能性があるコンクリート製のマスが2つあったが、いずれが充填口であるか特定することができなかった。</p>	11時46分現在
8月22日	二重化された敷地境界連続ダストモニタの設置状況の確認	MP-8	<p>○警報発生時の信頼性向上対策(誤警報防止)として、MP-8に新たに可搬型ダストモニタを追設し、並行測定しようとしていることから、追設したダストモニタの設置状況を確認した。</p> <p>結露対策として貫通孔から最短距離で吸気できるように採取管の長さが短く調整されていることを確認した。しかし、誤警報防止のための遮へい体等を設置していないため、現在は監視の対象から外しているとのことであった。今後、並行測定を行うことが決まった際は、遮へい体及びUPS付きノイズ抑制機を設置し、運用していくとのことであった。</p>	11時09分現在
8月23日	伐採木一時保管エリアGの状況確認	伐採木一時保管エリアG (MP-1東側)	<p>○伐採木一時保管エリアGの北側部分に新設された伐採木等の保管場所における防火対策等の状況について、現場確認した。</p> <p>エリア内数カ所に高さ確認用のポールが設置され、積み上げ高さが5m未満になるよう管理されていた。また、根の部分の保管場所には、約5～10m間隔に温度計を設置し、内部温度を測定していた。この他、主要道路を砂利又はアスファルト舗装とし、火災発生時に延焼を防止する構造としていたり、消火器や防火水槽を設置したりして、防災対策等を実施していることを確認した。</p>	12時00分現在
8月24日	5号機原子炉建屋設備研修	5号機原子炉建屋	○東京電力社員から5号機原子炉建屋の構造や機能等に関する講習を受けた。	12時56分現在
8月25日	A排水路付替え工事の状況確認	固体廃棄物貯蔵庫第1、2棟西側	<p>○A排水路の付替え工事の進捗状況を確認した。</p> <p>35m盤の排水路付替え部では、立坑の掘削作業が完了し、推進工事が行われていた。行政広報Gによれば、すでにヒューム管を6本埋設したとのことであった。作業はトラブルなく行われていることを確認した。</p>	8時25分現在

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。